

# 美術科学習指導案

## 題材名「だれもが快適なデザイン」

〔学指要領：「A 表現」(1)イ(ウ)、(2)ア(ア)「B 鑑賞」(1)イ(ア)、〔共通事項〕(1)アイ〕

令和〇年〇月〇日(〇) 第〇校時 〇〇〇〇教室

〇〇立〇〇中学校 2年〇組 指導者 〇〇 〇〇

### I 題材の構想

#### 1 題材の目標及び生徒の実態

	目 標	生徒の実態
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>形や色彩、材料などが使用する人の感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、だれもが快適なデザインを全体のイメージで捉えることを理解する。 (〔共通事項〕)</li> <li>材料や用具の特性を生かし、使用する人の立場に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表す。 (「A表現」(2))</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>色の整理の学習から、トーンや配色については理解しているが、他者からの見え方に対する色の意識をもって表現することは、十分にはできていない。</li> <li>試しの活動から生まれたアイデアを制作に生かすことはできるが、材料や用具の特性を生かした表現を苦手としている生徒も見られる。</li> </ul>
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>日用品を調べるなどして、だれもが快適なデザインや安全性を考えることで主題を生み出し、使いやすさや安全性、機能美の調和などを総合的に考え、表現の構想を練る。 (「A表現」(1))</li> <li>日用品や公共空間の目的や機能美の調和などを感じ取り、だれもが使いやすくする工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を広げる。 (「B鑑賞」(1))</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自らの思いや願いを作品に表現しようとして、主題設定を大切に考えているが、安全性や持ちやすさなどの機能美に着目して、表現を構想している生徒は少ない。</li> <li>参考作品や友達の作品を鑑賞する場面においては、よさや面白さを見付けることはできるが、身の回りにあるデザインに目を向けて、そのよさを見取れている生徒は少ない。</li> </ul>
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>美術の創造活動の喜びを味わい、主体的にだれもが使いやすい形や色彩、材料について考え、工夫して表すとともに、日用品や公共空間から機能美の調和を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品から多様な表現の工夫やよさを見いだそうとする生徒が多く見られるが、身の回りにある洗練されたデザインのよさと自身のデザインのつながりを感じている生徒は少ない。</li> </ul>

#### 2 評価規準

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>①形や色彩、材料などが使用する人の感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、だれもが快適なデザインを全体のイメージで捉えることを理解している。☑</li> <li>②材料や用具の特性を生かし、使用する人の立場に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。☑</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>①日用品を調べるなどして、だれもが快適なデザインや安全性を考えることで主題を生み出し、使いやすさや安全性、機能美の調和などを総合的に考え、表現の構想を練っている。☑</li> <li>②日用品や公共空間の目的や機能美の調和などを感じ取り、だれもが使いやすくする工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を広げている。☑</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>①美術の創造活動の喜びを味わい、主体的にだれもが使いやすい形や材料について考え工夫して表す学習活動に取り組もうとしている。☑</li> <li>②美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に日用品や公共空間から機能美の調和を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。☑</li> </ul>

#### 3 指導及び評価、ICT 活用の計画 (全5時間：本時第4時)

※別紙参照

#### 4 題材の価値

だれもが快適なデザインを追求することは、使用する人の立場を考えた主題を基に、様々な人々が安心して利用できるデザイン画を制作する体験から、身近にある日用品や公共空間の目的や機能との調和のとれた美しさなどに関心を持ち、自らの制作の創造活動に生かそうとする資質・能力の育成につながる。

II 本時の学習（4／5）

1 ねらい 各自の主題に合った形や色彩、材料などに着目した意見交流会を基にデザイン画を見直すことを通して、よりだれもが快適に利用できるデザインとして表現できるようにする。

2 展開

【★ICT 活用に関する事項】

主な学習活動 予想される生徒の意識〔S〕	主な発問 ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。（5分）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;めあて&gt;                          使用する人の立場から形や色彩、材料を考えて、よりよいデザイン画に表そう。</p> </div> <p>S：友達の見見も参考にして、よりよいデザイン画にしたいな。</p>	<p>○不自由な使い心地を体験したことから生まれた主題と、自らの制作の創造活動とのつながりを想起できるように、これまでの学習内容を問いかける。  <b>【★一覧表示】</b></p> <p>○よりよいデザインを追求することができるように、再度、使用する人の立場から見た際に、だれもが快適なデザインとして十分であると言えるかを問いかける。</p>
<p>2 形や色彩、材料などに着目した意見交流会を行う。（15分） <b>【★共有】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「デザインを考えている中で、何か悩んでいる点がありますか。」</p> </div> <p>S：しっかりした材料を考えていたけれど、少し重いから、他の材料のアドバイスをもらいたいな。                      S：元々見ることが不自由な人には、ノートの色は何でもよいと思って自分の好きな色を考えていたけれど、何とか色を伝えることはできないかな。</p>	<p>○自分の思いや願いに合ったアドバイスを受けられるように、主題を提示しながら伝え合うよう促す。                      ○自分とは違った使用する人の立場の視点で考えることも、自身のデザインの幅を広げることにつながることを実感できるように、意図的な意見交流の場を設ける。                      ○よりよいデザインにする足掛かりとしていけるように、「デザインを考えている中で、悩んでいること」を視点として提示し、滞っているアイデアについての付箋を作成するよう促す。</p>
<p>3 アドバイスをもとにし、よりよいデザイン画を制作する。（25分） <b>【★思考の補助】</b></p> <p>S：ノートの角を丸くして手を痛めないようにするというアドバイスは参考になったな。                      S：ヒマワリの花びらの部分に「黄色」という点字を付けると色が伝わるけれど、柔らかい素材でヒマワリの形を浮かび上がらせる工夫の方が、温かみを感じられるのではないかな。試してみたいな。</p>	<p>○アドバイスにより見直した工夫が分かるように、それらを記録しておくように促す。                      ○主題に合った形や色が決められるように、イラストアプリを活用して、何度も描いたり消したりしながら試していくことを助言する。                      ○主題に合った材料を決められるように、美術室の材料コーナーで、いつでも感触を確かめながら制作の足掛かりにするよう助言する。</p>
<p>4 本時の学習内容の振り返りをする。（5分） <b>【★保存・提出】</b></p> <p>S：マスに凹凸を付けるアドバイスをもらい、デザインを工夫することができて、うれしかったな。                      S：デザインは、使う人の気持ちも考えることが大切なのだ。自分のデザインが、だれにとっても使いやすく快適なものになればいいな。                      S：身の回りにある日用品や建造物も、きっと考え抜かれてできあがったデザインなのだろうな。もっと調べてみたいな。</p>	<p>○次時に生かせるように、ポートフォリオにデザイン画と振り返りを記録するよう促す。 <b>【★記録】</b>                      ○本時の活動の成果を共有するため、めあてに照らしてそのよさが表れている作品を紹介するとともに、各自の取組について称賛する。 <b>【★一覧表示】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆評価項目（知②）                          ポートフォリオの画像及び記述内容から、「よりよいデザインにするために使用する人の立場を考え、工夫して表現していたか」を評価する。</p> </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;振り返り&gt;</p> <p>S：私は、目の不自由な人も、健常者も使える漢字練習帳を考えて、アイデアに行き詰まっていた。けれども意見交流会で、友達から「マスに凹凸を付けるといいのでは」というアドバイスをもらって、一気にアイデアが膨らんでいきました。私のアドバイスも、だれにとっても使いやすく快適なデザインにつながればうれしいな、と思います。使用する人の立場を考えると、凹凸は柔らかい素材がいいと思いました。次の時間、みんなが工夫して考えたデザイン画を鑑賞するのが楽しみです。</p> </div>	

<別紙>

3 指導及び評価、ICT 活用の計画（全5時間：本時第4時） ※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	態
1	・身の回りにある使いやすさや安全性に優れた製品のデザインを基に、だれもが快適なデザインを考え、課題を立てる。(あ) (a) 題材の課題 だれもが使いやすい形や色彩、材料について考え、デザイン画に表そう。	●		
2	・使用する人の立場に分かれて不自由な使い心地を体験したことを基に、主題を生み出す。	●		①
3	・主題を基に、形や色彩、材料の構想を練る。(い)		●	
4	・形や色彩、材料を考え、デザイン画を制作する。(い) (う)	●		
5	・互いのデザイン画を鑑賞し、作者の思いや願いを感じ取り、分かち合う。(う)		②	●

\* 活用する学習支援ソフト等：(あ) デジタル教科書 (い) イラストアプリ (う) ロイロノート

\* 活用するコンテンツ等：(a) 身の回りにあるだれもが快適な製品や建造物等のサイト